



水と緑の文化都市



日野市勢要覧

日野市立図書館

☎042-586-0584



00008 7183 0

水と緑の文化都市

HINO CITY

ひの



私たちのまち日野

日野市は、東京都のほぼ中央部に位置しており、市域は27.53km²、都内26市中6番目の広さで、多摩川と浅川の清流に恵まれ、湧水を含む台地と緑豊かな丘陵をもつ人口17万人超のまちです。

昭和初期から大企業を誘致し、工業都市となっている一方、かつて「多摩の米蔵」といわれたように農業が盛んなまちで、現在も米や野菜などの出荷があり、小・中学校の給食には地元の野菜が多く使われています。他にも梨、ぶどう、ブルーベリー、りんごなどの果物栽培も行われ、ブルーベリー、りんごは摘み取りも出来ます。

市内には、関東三大不動尊である高幡不動尊があり、年末年始や節分の豆まき、あじさい、紅葉の季節などには多くの参拝客が訪れます。そのほか市の南に位置する多摩動物公園などの観光施設は家族連れで賑わっています。

また、日野は新選組隊士の土方歳三や井上源三郎が生まれ育った「新選組のふるさと」であり、子孫が開館する資料館や名主の佐藤彦五郎の屋敷(日野宿本陣)が残されています。毎年5月には「ひの新選組まつり」が行われ、全国から新選組ファンが集まります。

現在、市は市民参画を基本に、自然を生かした環境にやさしいまちづくり、経営感覚をもった効率的なまちづくりを進めているところです。引き続き日野に伝わる固有の文化を生かし、「次の時代に美しいふるさとを渡そう」をスローガンに、「水と緑の文化都市」の完成を目指しています。



日野市長 ひろみち
馬場 弘融

Hiromichi Baba, mayor of Hino City

Our Hometown Hino

Hino City, with a population of more than 170,000, is blessed with the clear streams of the Tama River and the Asa River, a plateau containing a rich aquifer, and green, rolling hills.

Hino is comfortably located almost at the center of Tokyo Metropolitan. The city measures 27.53km² in area and prides with



the 6th largest land of the 26 metropolitan cities.

Hino has welcomed large enterprises since the early Showa era, and although the city became a center of manufacturing, Hino was known as the "Rice Granary of Tama" because of its rich agricultural production. Rice and vegetables are still commercially grown in the area, and local vegetables make up part of the school lunches in the local elementary and junior high schools. Pears, grapes, blueberries, apples, and other fruits are widely cultivated and there are orchards where the public can enjoy picking blueberries and apples.

Hino is famous for Takahata-Fudosen, one of the three major deities in Kanto, attracting many visitors at the beginning and end of the year, on Setsubun—the day of the "Bean-throwing Ceremony", and during those seasons marked by the blooming of hydrangeas and the changing leaves of fall. The nearby Tama Zoological Park and other tourist attractions are always bustling with families.

Hino is also historically famous as "the Hometown of the Shinsen-gumi (the Police Force of the Edo Government)" and two of the leaders of the Shinsen-gumi, Toshizo Hijikata and Genzaburo Inoue, grew up in the area. Hino also contained the residence (Hinojuku-Honjin) of the village head-chief, Hikogoro Sato, which is still standing. Their descendents open some related rooms to the public. The "Hino Shinsengumi Festival" is held every May and many Shinsengumi fans gather from across the whole country.

Today, thanks to co-ordinated efforts between the city government and its citizens, Hino strives to be an efficient and environment-friendly town, promoting business and urban development in harmony with its natural resources. Under the slogan "Hand down a beautiful hometown to the next generation", we aim for "a rich, cultural heritage with clean water and green forests".

日野市の特徴

工業～製造品出荷額等は都区内1位

昭和の初めから工場の誘致を行い、市内には日野自動車、コニカミノルタ、富士電気、東芝などの大企業があります。平成19年工業統計調査では製造品出荷額等で都区内1位となっており、東京西郊の工業都市の一面も兼ね添えています。



農業～「農業基本条例」で都市農業を守ります

全国初の「農業基本条例」を策定し、都市農業振興を重点として、都市部における農業を食や健康、環境などとリンクさせています。全小・中学校で地元野菜を給食に利用する地元農産物供給事業など、「地産地消」を軸に都市農業の特性を生かした多様な農業政策を展開しています。



交通～12の駅で、高い交通利便性

市内にはJR、京王線、多摩都市モノレールの3線が走っています。JR中央線2駅、京王線5駅、多摩都市モノレール5駅で計12の駅があり、鉄道網はかなり充実しています。都心とは約1時間でつながり、通勤や通学に便利で、典型的な都市近郊のベッドタウンとして発展しています。



春



空が広い日野、その下、川も丘も淡い彩り

万願寺多摩川土手



楽しみな市民プールへ、ちょっと優雅に川渡し

夏

四季の移り変わり 新選組のまち日野、名所など

「水」がはぐくむ緑豊かな歴史のまち日野。日野の魅力を再発見出来る、名所、観光スポットなどをご紹介します。

多摩動物公園 (程久保7-1-1)

国内でも数少ない無柵放養式の動物公園で、広い敷地を散策しながらゆったりと動物を見ることが出来ます。園内は動物の行動をより楽しむように工夫されており、オランウータンのスカイウォークも人気です。



百草園 (百草560)

江戸時代に松連寺の庭園として造られ、文化・文政の頃には多くの文人墨客に愛されました。早春はミツバツツジ、初夏は紫陽花、秋は紅葉、冬はロウバイなど、四季の花と木を楽しめます。特に梅の時期の眺めは圧巻。2～3月には梅まつりが開催され、都内有数の梅の名所として親しまれています。



高幡不動尊 (高幡733)

真言宗智山派別格本山、高幡山明王院金剛寺は、古来関東三大不動の一つとして親しまれてきました。高幡不動尊は土方歳三の菩提寺であり、大日堂では、毎年5月の命日に法要が行われています。新選組を讃えた殉節両雄之碑・土方歳三の像が境内にあります。



秋

かさこそ、落ち葉を踏んで、林の移り色に浸ります

平山城址公園

くっきり、すっきり、寒い時だけのおたのしみ

冬

新選組のふるさと日野

新選組副長・土方歳三、六番隊隊長・井上源三郎、物心共に新選組を応援し続けた佐藤彦五郎の出身地であり、近藤勇、沖田総司らが集った日野。佐藤彦五郎が自宅に開いた天然理心流の道場で剣術の稽古に励んだ彼らは、後に新選組となり、歴史にその名を刻み込む。

当時、日野の人々は佐藤彦五郎を中心に新選組の活動を支援し、新選組消滅後も隊士たちとの交流は続いた。現在も日野には数多くの書簡や遺品が残されており、人々は誇りを持って隊士たちのことを語り継ぎ、多くの資料を守り伝えている。

日野宿本陣 (日野本町2-15-9)

都内で唯一残る江戸時代に建てられた本陣建物です。佐藤彦五郎が建てた建物で、文久3年(1863)に上棟しました。

- 休館日:月曜日、年末年始
- 開館時間:9:30~17:00(入館は16:30まで)
- 入館料:大人200円、小人50円
- 電話:042-586-8808



新選組のふるさと歴史館 (神明4-16-1)

新選組と新選組が活動した幕末に焦点を当てた歴史館です。

- 休館日:月曜日、年末年始
- 開館時間:9:30~17:00(入館は16:30まで)
- 入館料:大人200円、小人50円
- 電話:042-583-5100



土方歳三資料館 (石田2-1-3)

土方歳三の生家(現在改築され当時のものではありません)に開設している資料館です。展示物には、歳三が使った鉢金(額を守る鉄板)、手紙、歳三の愛刀「銘和泉守兼定(いずみのかねさだ)」などがあります。

- 開館日:第1・第3日曜日(平日は応相談)
- 開館時間:12:00~16:00
- 入館料:大人500円、小中学生300円
- 電話:042-581-1493



井上源三郎資料館 (日野本町4-11-12)

井上源三郎の生家にある土蔵を改装した資料館です。展示物には、天然理心流剣術免許などがあります。

- 開館日:第1・第3日曜日(平日は応相談)
- 開館時間:12:00~16:00
- 入館料:大人500円、小中学生300円
- 電話:042-581-3957



佐藤彦五郎新選組資料館 (日野本町2-15-5)

日野宿名主佐藤彦五郎の資料を公開している資料館です。近藤勇、土方歳三、沖田総司を始め、隊士たちとの絆の深さを物語る品々を展示しています。

- 開館日:第1・第3日曜日(平日は応相談)
- 開館時間:11:00~16:00
- 入館料:大人500円、小中学生300円
- 電話:042-581-0370



八坂神社 (日野本町3-14-12)

本殿は寛政12年(1800)に建造されたもので、精巧な彫刻が組み込まれた神社建築として市指定文化財になっています。佐藤道場の天然理心流剣士たちが、安政5年(1858)に、日野宿鎮守である八坂神社へ剣術の上達を願って奉納した額があります。



石田寺 (石田1-1-10)

土方歳三の墓所があります。5月11日は土方歳三の命日。5月の第2日曜日には「歳三忌」が行われます。現在でも歳三をしのぶ人々が訪れ、花が耐えることがありません。



大昌寺 (日野本町2-12-13)

慶長7年(1602)創建。新選組最大の支援者であり、明治11年(1878)に初代南多摩郡長になった佐藤彦五郎と妻ノブ(歳三の実姉)の墓所があります。また日野宿の時の鐘などがあります。



宝泉寺 (日野本町3-6-9)

元徳年間(1329~32)の開創。新選組六番隊隊長で、鳥羽伏見の戦いで戦死した井上源三郎の墓と顕彰碑があります。そのほか、持ち上げ観音、金丸四郎兵衛の墓などもあります。



ともに創りあげる 住みいい・ ここちいい・ いきいき のまち日野



平成13年3月、10代～70代の市民156人の参画と市職員との協働で作成した「ひのいいプラン2010(第4次日野市基本構想・基本計画)」が策定されました。その中で日野市は、

住み続けられるまちとして良好な生活環境が整った「住みいい」まち

住んでいる人すべてが互いの人権を尊重し心のかよう「ここちいい」まち

それぞれの地域が活気や魅力にあふれた「いきいき」のまち

となることを目標としています。その3つの目標のもとにまちづくりの10の柱を掲げ市民と行政との参画、連携、協働を推進していきます。

① 参画と協働のまち

すべての市民が政策形成や計画策定への参画が出来る機会の拡大を図ります。そしてその成果が行政運営に反映される仕組みを整え、協働のまちづくりを進めるとともに、市民にわかりやすい、開かれた市政を推進します。

- 参画・協働のまちづくりを進めよう
- 市民本位の行政運営を進めよう
- 議会に関心を持とう



2. Town that Nurtures Hino People and Hino Culture

The goal is to nurture residents from child to seniors. This will take place through cooperative effort between the private and public sector backed by the purpose to develop human resources who look forward in promoting town making for a future Hino. Coming human resources must fully deliver their unique potential, as well as be equipped with a broadly global mind. Thus, hometown making is underway with focus on actualizing such global perspectives.

1. Cooperative City Through Joint Effort

Plan is underway to expand opportunities for all residents to participate in policy making and planning activities, backed by the idea to reflect those results in the governmental administration. Effort focuses on promoting cooperative town making and creation of city policies that can easily be understood by and are readily disclosed to the public.

- Promote town making through cooperative participation.
- Promote resident-oriented governmental administration.
- Gain interest in the city assembly.

② ひのびと 日野人・ 日野文化を育てるまち

これからの日野のまちづくりを進めていくことに夢を持つ人材を市民、行政の協働により子どもから高齢者までを含め育てていきます。

また、これからの人材は、自らの個性を十分に発揮していくことはもちろん、広く国際的な視野も備えていく必要があり、それを実現するためのグローバルな視点に立ったまちづくりを進めます。

- ひのびと
- 日野人を育てよう
- グローバルな社会をつくろう
- 日野文化を築こう
- 心豊かなひのつ子を育てよう
- Develop Hino people.
- Create a global society.
- Nurture Hino culture.
- Raise well-rounded children.

③ ふれあいのあるまち

ふれあいのあるまちづくりには、地域コミュニティの再生・構築が必要です。そのための地域の交流の場(施設)づくりと、市民が地域のことを考え活動する仕組みづくりとその活性化を進めていきます。

- 心のふれあうコミュニティづくりを進めよう
- 地域の交流の場づくりを進めよう

3. Friendly Hometown

It is vital to revive and structure the local community in making a friendly hometown. Thus, plan is underway to define places and facilities of local exchange and to create and revitalize activities where the civic population remains involved for the betterment of the local community.

- Making a community that is friendly and hearty.
- Creating sites for local exchange.



④ 対等の立場で心のかようまち

高齢者、障害者、子どもなどすべての人の人権が尊重される地域社会を築いていきます。

男女平等参画社会をつくるために、男女が平等に職場、家庭、地域のあらゆる場で活動出来る社会を築いていきます。

また、市民と行政が地域の中でそれぞれの役割分担のもとに、心のかよう地域ぐるみでの福祉のまちづくりを進めていきます。

- 人権尊重のまちづくりを進めよう
- 男女がいきいきと活動出来るまちづくりを進めよう
- 地域ぐるみの福祉のまちづくりを進めよう

4. Hearty Hometown with Equal Opportunities and Equal Participation

Our goal is to create a local society in which all seniors, the disabled and children respect and value human rights.

To create a society of equal opportunities for both men and women, we make it a mission to develop a society in which both men and women can equally participate in the workforce, housework and local community.

It is also our prided objective to enforce hometown making that values friendly social welfare supported by the entire community backed by supportive roles distributed among the private and public sector for a functional community.

- Creating a friendly hometown that respects human rights.
- Creating an energetic hometown that provides equal opportunities to men and women.
- Creating a considerate hometown that values social welfare through community effort.



住みいい・ ここちいい・ いきいき のまち日野



⑤ だれもが健やかで いられるまち

いつまでも健康でいられるために、地域の中に散策路、ジョギングコース、スポーツ広場などの健康増進の場づくりを進めるとともに、病気の予防と健康づくりの地域コミュニティー活動を推進します。

また、心身ともに健康な生活を送るため、予防、早期治療に向けた、健康診断・相談などを充実し、保健医療体制の整備・充実を図ります。

- 健康づくりを促進しよう
- いざ!というときのための保健医療体制づくりを進めよう



6. Comfortable Hometown

We strive to create a comfortable, safe and healthy living environment with the potential in becoming a city of lifelong residential choice. Thus, our efforts continue to focus on securing safe living that starts close to the home. We make a point to keep local characteristics intact while creating a hometown that is both unique and comfortable to live in.

City Planning and Land Readjustment is underway according to the needs of the times.

5. Hometown with Healthy Opportunities for Diverse Needs.

Health is a major municipal topic. To provide healthy opportunities, we have added walk routes, jogging courses, sports fields and other health enhancement choices in the community. Plan remains underway to consolidate options, as well as promote community health to prevent disease and to enhance public health.

To lead a life for sound mind and body, preventive medicine and early treatment is a must. To support this need we offer physical checkups and health consultation programs. Effort also continues to improve and consolidate our current medical system with a healthier life in mind.

- Support healthy living.
- Develop the public health and medical infrastructure to meet public needs.

⑥ 住みやすいまち

住みやすく、そして将来にわたり住み続けられる定住都市としての良好な住環境づくりを、身近な生活環境の安全確保の視点も含め進めます。また、地域ごとの特性を生かしながら個性ある住みやすいまちづくりを進めていきます。

区画整理事業についても、時代の状況に応じた事業の展開を図っていきます。

- 住みやすい住環境づくりを進めよう
- 段階的に区画整理を進めよう

- Creating a comfortable and healthy residential environment.
- Promoting gradual city planning and land readjustment works.

⑦ 気軽に出かけられるまち

丘陵地や坂道など、日野の地形特性を踏まえ、だれもが気軽に外出が出来、社会で活動出来るための環境整備を推進します。特に、外に気軽に出かけられるよう、バス路線や道路の改善を図ります。

- 人にやさしいまちづくりを進めよう
- 便利な交通システムをつくらう



7. Convenient Hometown

Hino is rich with a topography of hillocks and slopes. With this in mind, our environmental improvement projects focus on ensuring that everyone can easily go outdoors and remain active in society. Our focus remains on improving the bus routes and road access for convenient access when outdoor.

- Creating a people-friendly hometown.
- Developing convenient transportation systems.



⑧ 自然と人が共生するまち

地球規模での環境問題の視点に立ち、環境共生時代への対応としてごみ対策や、水、空気などの地域環境、省資源、省エネルギー対策のまちづくりを環境基本計画の具体化により進めてきます。

また、日野の農業振興も含めての水辺とみどりの豊かなまちづくり、自然と人が共生するまちづくりを進めていきます。

- 循環型のまちづくりを進めよう
- 水辺とみどりの豊かなまちづくりを進めよう
- 農あるまちづくりを進めよう

8. Symbiotic Hometown of Nature and people

It is important to realize the environmental issues on a global basis. To keep our environment in symbiotic harmony with urban lifestyles we promote aggressive and specific basic environmental plans. These include waste processing measures, as well as maintenance of the local environment with concern for water and air quality. Resource and energy conservation are also high on our agenda to ensure environmental-friendliness.

Promotion of farming in Hino is another municipal project to make Hino a hometown rich with clean water and natural galore, as well as hometown that enjoys symbiotic harmony between nature and people.

- Making a circulating hometown.
- Making a hometown rich with clean water and natural amenities.
- Making a hometown with a farmbelt.

住みいい・
 ここちいい・
 いきいき
 のまち日野



9 安全で安心なまち

災害発生に備えた、安全な都市、地域づくりを進めていきます。また、防犯対策についても地域ぐるみで対応していくことが必要となります。

また、快適な生活を営む都市空間として公園を安全面も含め特徴あるものとして整備していきます。

- 安全で安心なまちづくりを進めよう
- 快適で魅力ある広場づくりを進めよう

9. Safe and Secure Hometown

Plans are underway to create a safe city and community with risk management in mind, to be prepared in case of disaster. Further, these disaster prevention measures must be enforced through community concerted effort.

Public parks are an important oasis of urban life and comfortable living, thus, park improvement is enforced to satisfy both safety and characteristic attribute.

- Making safe and secure hometown.
- Providing an attractive and relaxing community square.

10 個性と魅力と活気のあるまち

駅前を中心とした商業拠点づくり、日野市の根幹である農業、そして工業の支援などについて、土地利用の視点から位置付けていきます。また、観光については、単にモノとしての日野ブランドだけでなく、自然と文化をもとにした地域特性、いわゆる「日野らしさ」についても位置付けます。

- 地域特性を生かした個性あるまちづくりを進めよう
- 魅力とにぎわいのある拠点づくりを進めよう
- 働く場のあるまちづくりを進めよう

8. Attractive, Energetic and Unique Hometown

Commercialization of the railway station area is our imminent issue. Thus, discussion for effective utilization of land will continue to be an important topic, as we also continue to support farms and industries that are trunk economies of Hino City.

Tourism is another attraction of the city. To highlight the best of "Hino" it is our intention to promote the local characteristics with spotlight on the Hino way of nature and culture, instead of simply stopping at defining the Hino brand as brand as an item.

- Making a unique hometown that highlights local characteristics.
- Creating an attractive and active strong point.
- Creating a hometown with work opportunities.



市の 主要施策

「市民参画」「環境にやさしい」「経営感覚」を基本理念とし、「次の世代に美しいふるさとを渡そう」をスローガンとして市政運営を進めています。

1 子育て支援の充実

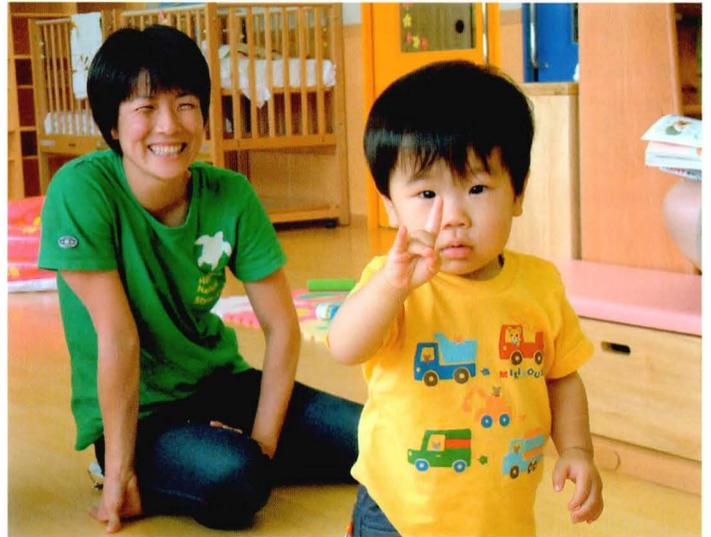
「子育てしたいまち しやすいまち日野～子育ての悩み・不安ゼロ」を目指して、市民の皆さまが安心して子育て出来る環境作りを進めています。

- 保育園等改革計画の推進により、子育て支援サービスや保育環境を充実(施設の耐震補強改修、認可保育園の開設、各園の特色を生かした環境作り)
- 待機児解消に向け、新たな保育所・認定子ども園を設置
- 保育園・学童クラブで支えが必要な子への支援として、巡回相談などを行う「そだちあい」事業を導入
- 学童クラブの全員入所を堅持し、育成環境を整備
- 小学校全校での放課後子どもプラン「ひのつち」を実施
- 地域性を発揮し、子育て行政の中心となる基幹型児童館を設置～子育て子育ての総合施設に
- 児童虐待及び子どもと家庭に関する相談に対応出来る先駆型子ども家庭支援センターを設置。また、就学前の子どもと保護者が集える「子育てひろば」や家庭在宅サービスを充実

2 セーフティネット事業の推進

「市民のあんしん力を高めよう」をテーマに、格差是正のためさまざまな分野での取り組みを進めています。

- 生活相談や正規雇用に向けた諸施策の紹介・受け付けなど、格差是正に向けての取り組み事業として、あんしん生活推進事業・セーフティネットコールセンターを立ち上げ
- ひとり親家庭、高齢者・障害のある方、生活に不安のある方など、支えが必要な方別にきめ細やかな支援を実施
- 適正労働の実現を図るため、公契約制度のモデル事業を実施
- 起業及び新分野事業の開拓を支援するなど、市内の中小企業振興事業を実施
- 「日野市被害者等支援基本計画」を策定し、被害者等支援施策を具体的に推進



3 学校施設の整備と教育環境の充実

教育内容の充実と安全で快適な学習環境の整備を目指し、地域とともにさまざまな取り組みを進めています。

- 日本一の学校ICT活用教育を目指して、全小・中学校でICT環境の整備を行い、都内で初めてICTを活用して授業の出来る教員100%を達成
- 特別支援教育推進チームを設置し、ひとり一人の子どもの特性に応じた教育の実現を目指し、リソースルームティーチャー及び臨床心理士を配置するなど、支援が必要な児童・生徒を支える特別支援教育を推進
- 小・中学校施設整備計画にもとづき、全校舎の耐震補強工事がほぼ完了。併せてトイレ、給排水設備などの改修を実施
- コミュニティスクールとして1校を指定、またすべての小学校に学校支援地域本部を開設など、地域に根ざした特色ある学校づくりを推進
- 多忙な教師をサポートするため、小学校に市独自の講師などを配置
- 不審者情報のメール配信、スクールガードボランティアなど、地域ぐるみで子どもを見守る体制を強化
- 小学校1校の校庭を芝生化、小学校2校・中学校2校に学校安全ポケットパークを設置するなど、学校敷地の未利用地を活用した、安全、緑化、景観作りを推進



市の 主要施策

4 地球温暖化対策を推進

持続可能な社会の実現に向けた地球温暖化対策～「ふだん着でCO₂をへらそう」事業を推進しています。

- CO₂削減の取り組みメニューから、市民及び団体が無理なく継続して取り組めるものを選び、家庭などの単位で宣言し、実行する「ふだん着でCO₂をへらそう」事業の推進
- 遊休市有地を活用して「エコひいきな街づくりモデル街区事業」を開始。環境にやさしいエコ仕様の住宅にすると、土地価格の3%値引き、太陽光パネルを市が設置するなどの特典を設け、省エネ・省資源に配慮した住宅建築を奨励。
- 市民、事業者、行政の連携で、一部市内スーパーが多摩地区初となるレジ袋有料化をスタート。マイバック運動を更に推進し、ごみの発生を抑制。
- 可燃ごみの約半分を占める生ごみを土に戻すため、市民協働で地域循環の仕組み作りを推進

5 食育の推進

「日野市食育推進計画～食から始まる健康づくり」を着実に実施するため、食育推進事業に取り組んでいます。

- 学校給食における日野産野菜利用率の目標（平成23年度に25%）を達成するため、契約栽培品目の増加、地元農家と学校との間に入り調整するコーディネーターを配置するなど、供給促進事業を推進
- 市内小学校で大豆を栽培。地元農家の指導のもと、種まき、収穫を行い、豆腐作りなどの体験学習を実施
- 生活習慣病予防など、食を通じた健康づくりのための講座の開催や専門職による相談事業の実施
- 各種健診の実施や乳幼児と保護者を対象とした講座などを活用し、食育を推進



6 安全で安心なまち、日野へ

市民が安全で安心に暮らすことができるよう、さまざまな取り組みを推進しています。

- 避難所となる学校校舎などを使用した宿泊訓練の実施
- 洪水ハザードマップを活用した地域別避難訓練の実施
- 地震想定を異にする近県市町村との防災協定締結
- 自主防災組織や自主防犯組織・わんわんパトロール・買い物パトロールの拡大を図り、地域ぐるみで安全安心への取り組みを支援
- 青色回転灯を装着したパトロールカー仕様の車両で、警察官OBが市内安全パトロールを実施



ひのごよみ

FESTIVITY IN HINO STYLE

日野市には、神社や寺院が多いために古くからの伝統的な祭り行事がたくさんあります。中でも関東の三大不動に数えられている高幡不動尊では、年間を通してさまざまな祭事が行われており、全国からたくさんの方が訪れます。

季節に咲き競う花たちも彩りを添えてくれます。2月の梅から、桜、あじさい、菊、もみじ、マンサクの花など、それぞれの装いで市民の目を楽しませてくれ、ゆかりの神社や寺院、名所も存在します。

市民の手により運営されるイベントや行事もたくさん開催されています。スポーツ大会やレクリエーション大会も年を追うごとに参加者も増えており、ひの新選組まつりや産業まつりは市外から来る見学者にも人気があります。

季節の祭りや行事は、私たちの暮らしに彩りやうるおいを与えてくれます。太鼓や笛の音が聞こえてくると心も躍ってしまいます。



1月	日野七福神 日野市成人式(上旬) 日野市消防団出初式(上旬) 高幡不動厄病牛王宝印々可初弁天(15日) 繭玉供え・蚕日待ち どんど焼き エビス講(20日) 高幡不動初不動・だるま市(28日) 高幡不動豆煎り式
2月	節分(3日高幡不動ほか) 保育まつり(上旬) 百草園梅まつり(上旬~3月中旬) 金剛寺・宝泉寺涅槃会(15日) 宗印寺のマンサクの花開花
3月	高幡不動彼岸会(21日) スプリングフェスタひの(下旬)
4月	春の緑化月間 桜開花(市内各地) 平山季重まつり(上旬) さくらの集い(上旬) 安養寺毘沙門天まつり(第1日曜日) 花まつり(8日に市内寺院で) 虚空蔵菩薩まつり 高幡不動春季大祭 多摩川・浅川クリーン作戦 市民体育大会総開会式 郷土資料館まつり(下旬) ひの新選組まつり(上旬) 公民館まつり 高幡不動正五九例祭(28日)
5月	鮎の解禁 市民ふれあい福祉まつり(上旬) 高幡不動あじさいまつり 親と子のホテル教室(中旬に多摩動物公園)
6月	駒形の渡し運行開始 ひのよさこい祭り(下旬)
7月	高幡不動 うら盆大施餓鬼法要(15日)
8月	ひのアートフェスティバル(下旬) 総合防災訓練(下旬)
9月	若宮神社まつり・奉納相撲 市民水泳大会 敬老大会(上旬) 八坂神社秋祭り(中旬) さらら流し・御輿御渡(中旬) 市民文化祭 百草八幡阿弥陀如来座像開帳(15日) 高幡不動秋季大祭・大般若会
10月	環境月間(清流月間) ひの新能 東光寺安産薬師例祭 日野市民スポーツレクリエーションフェスティバル(体育の日) 子どもまつり(中旬) くらしのフェスタ(下旬) 菊まつり(下旬)
11月	緑化月間 市政記念日・功労者表彰式(上旬) 健康フェア(中旬) 日野市産業まつり(中旬) 百草園落葉焚き たかはたもみじ灯路・万燈会(下旬)
12月	高幡不動もみじまつり 高幡不動星まつり(22日) 納めの不動尊(28日)

時を訪ねて

時代区分		日野(多摩)中心のできごと	
先土器		日野台地で狩猟をしながら、移動生活をする人々が現れる	
縄文	前期	日野台地などに人々が定住し始める	
	中期	日野台地や多摩丘陵に集落が形成され始める 日野の沖積層でも人々の生活が始まる	
弥生	末期	神明上や平山に集落ができる	
古墳	前期	西平山、吹上などに集落ができる	
	後期	沖積地の開発が盛んになり、落川などに大規模な集落が作られる 七ツ塚、平山などに古墳が作られる 台地のほけに横穴古墳が作られる このころ、武蔵国ができる	
奈良		武蔵国から絹を調として納め始める	
		武蔵国分寺完成	
平安	833	武蔵国に「悲田処」が作られる	▲平山古墳(古墳時代)
	861	武蔵国の各郡に検非違使がおかれる このころ武蔵国に牧が作られる	
	1156	保元の乱における源義朝の軍勢に西党平山氏が従軍する	
	1159	平山季重が源義朝に属し、平治の乱の合戦に従軍する	
	1163	10月13日刻銘の経筒が、百草に埋納される	
	1165	9月17日刻銘の経筒が、百草に埋納される	
	1180	源頼朝が常陸佐竹秀義の金砂城を攻撃し、平山季重が従軍する	
	1184	平山季重が源義経に属し、一の谷の合戦に従軍する	
1186	源頼朝が武蔵国真慈悲寺(百草園とその周辺)を再興する		
鎌倉	1193	8月4日刻銘の経筒が旧百草村新堂谷戸に埋納される	
	1250	「日本武州多西吉富真慈悲寺」の背銘のある銅造阿弥陀如来座像が鋳造される	
	1271	市内最古で最大の板碑造立される	
	1273	5月20日刻銘の銅造鑿口(金剛寺蔵、国重要文化財)が鋳造される	
南北朝	1335	高幡山上の不動堂が大風で倒壊する	
	1339	高師冬に従い、山内経之が常陸合戦に出陣する	
	1342	高幡不動堂、山下の現在地に再建される	
室町	1455	足利成氏、上杉顕房と立川が原で戦う。上杉方の上杉憲朝敗れて高幡不動にのかれ自害する	
戦国	1580	北条氏照が三沢衆土方弥八郎滝山城下に待機させ、出陣の用意を命じる	
	1586	北条氏照が日野郷郷に竹木伐採を禁じる	
	1588	北条氏照、三沢衆を八王子城に召集	
	1590	八王子城・小田原城落城、北条氏滅亡 徳川家康、関東入国に際し、八王子に大久保長安を代官頭とする代官所を設ける	
江戸	1605	大久保長安、日野を宿場と定める	
	1684	日野宿助郷37力村が定まる 日野渡船場、日野宿の経営となる	
	1685	多摩川の川運上が定められ、御業船の上納が行われる	
	1723	高倉原の新田開発が行われる	
	1809	大田南畝(蜀山人)が勘定奉行配下の役人として多摩川巡視中に日野宿名主佐藤彦右衛門方に立寄り「蕎麦の記」を記す	
	1817	八王子や日野新田に隕石が落ちる	
	1829	日野宿を寄場として組合村(日野宿組合)が組織される	
	1844	日野宿組合の村々が六昌寺の時の鐘を払う事が決まる	
	1846	日野の渡しで渡船が転覆、30人余が流死	
	1849	日野宿の本陣・脇本陣が大火のため焼失する	
	1863	幕府が関東の農兵取立てを実施し、日野農兵隊ができる 土方歳三ら、京都において新選組を組織する	
1864	新選組「池田屋事件」で名をあげる		
1866	武州一揆おこる。日野農兵隊が八王子農兵隊とともに築地河原で撃退する		



▲平山古墳(古墳時代)

時代区分		日野(多摩)中心のできごと	
明治	明治 1	1868	甲陽鎮撫隊が勝沼の戦いで敗れる 日野宿をはじめ、現在の日野地域の村々が、神奈川県管轄となる
	明治 2	1869	土方歳三、箱館で戦死
	明治 5	1872	日野宿組合郷学校が開校する(日野学校、高幡学校)
	明治 7	1874	豊田小学校開設 日野郵便局開業
	明治 11	1878	郡区町村編制法の施行により、日野地域は南多摩郡となる。郡役所は八王子に設置され、初代郡長に日野宿の佐藤俊正が就任する
	明治 15	1882	森久保作蔵、五十子敬齋らが自由党に入党する この頃、自由民権運動がさかになる
	明治 17	1884	困民党が蜂起し、日野にも影響が及ぶ
	明治 20	1887	百草園が開園する
	明治 22	1889	甲武鉄道、新宿-八王子間開通 市制町村制施行により、日野地域に日野宿・桑田村・七生村の一宿二村が誕生
	明治 23	1890	日野駅開設
	明治 26	1893	三多摩が東京府へ移管される。日野宿が日野町と改称される
明治 34	1901	豊田駅が開設される 日野町と桑田村が合併して日野町となる	
明治 39	1906	甲武鉄道が国有化され、中央線となる	
明治 44	1911	林丈太郎が、平山陸稲を発見する	
大正	大正 2	1913	豊田・川辺堀之内耕地整理事業完成 浅川に平山橋が架設
	大正 3	1914	多摩川の大洪水。四谷下(鉄橋下)の堤防決壊。氾濫をおこす
	大正 5	1916	甲州街道沿線及び四谷地区に電灯がつく
	大正 7	1918	下田・新井・石田・宮・堀之内・豊田・河原の地区に電灯がつく
	大正 10	1921	日野郵便局で、電信電話業務開始
	大正 12	1923	郡制廃止により、南・北・西多摩各郡役所が廃止となる 関東大震災おこる 浅川に高幡橋が完成する
	大正 14	1925	玉南電気鉄道(株)、府中-東八王子間営業開始
昭和	昭和 1	1926	日野橋開通
	(大正 15)		立川-高幡不動間、バス運転開始
	昭和 3	1928	日野郵便局で電話交換業務開始
	昭和 7	1932	七生村が経済更正指定村となる
	昭和 11	1936	平山橋開通
	昭和 12	1937	小西六日野分工場が操業開始 中央線複線化、日野新駅開設
	昭和 14	1939	七生村に東京府拓務訓練所が開設
	昭和 17	1942	日野自動車工業操業開始
	昭和 18	1943	東京都制施行
	昭和 20	1945	4月3日、空襲により上田・宮・下河原で爆死者あり 8月3日、八王子大空襲
	昭和 21	1946	高幡山金剛寺不動堂仁王門が国の重要文化財に指定
昭和 22	1947	日野中(一中)・七生中が開校 カスリン台風により多摩川大出水	
昭和 23	1948	日野警察署・日野消防署発足	
昭和 29	1954	日野町役場庁舎(市役所旧庁舎)完成	
昭和 30	1955	七生村役場焼失。七生村診療所を臨時役場とする	
昭和 33	1958	日野町と七生村が合併して日野町となる 多摩平団地への入居が始まる 多摩動物公園開園	
昭和 34	1959	衛生処理場完成	
昭和 35	1960	日野町水道給水開始 平山台(現在の旭が丘)地域に工場進出が始まる	
昭和 36	1961	日野町立日野国民健康保険病院(現日野市立病院)設立	



▲日野・豊田新駅開通式(昭12)

古くから、多摩の要衝として栄えてきた日野。
長い歴史をたどると、様々な日野の姿が見えてきます。
日野のあゆみをふりかえってみましょう。

時代区分		日野(多摩)中心のできごと
昭和	昭和 38	1963 一番橋開通 日野町、市制施行(全国で559番目) アメリカ、レッドランズ市と姉妹都市提携 市章制定
	昭和 40	1965 中央図書館開館 八ヶ岳「大成荘」開設 字名が廃止になる 市民プール開設
	昭和 41	1966 中央公民館・福祉センター完成
	昭和 42	1967 中央自動車道八王子-調布間開通
	昭和 44	1969 日野保健所開設 日野社会教育センター開館
	昭和 46	1971 カドミウム公害対策協議会設立 ヒノクジラの化石発見 日野市第一次基本構想策定 平山児童館開館
	昭和 47	1972 日野消防署が現在地に移転
	昭和 48	1973 中央図書館開館
	昭和 48	1973 市の木(かし)・市の花(さく)制定
	昭和 49	1974 市営水道事業が東京都に統合される 日野市土地開発公社設立
昭和 51	1976 清流条例施行	
昭和 52	1977 高幡橋開通 市役所新庁舎完成	
昭和 54	1979 南平体育館開館 ▲市役所新庁舎完成(昭52)	
昭和 55	1980 (社)日野市高齢者事業団(現(社)日野市シルバー人材センター)発足 七生公会堂開館、七生支所を七生公会堂1階に移転 駒形の渡し舟開設(夏季) 高幡図書館・日野図書館開館 日野中央公園開園 金剛寺五重塔が完成	
昭和 56	1981 日野駅ホーム下に跨道橋開通	
昭和 57	1982 日野市老人憲章制定 市民ギャラリー開館 高幡不動尊が新東京百景第1位に選ばれる 日野市第二次基本構想策定 核兵器廃絶、平和都市宣言を採択 婦人センター開設	
昭和 58	1983 日野市歌制定 市の鳥(カワセミ)制定 日野市民憲章制定	
昭和 59	1984 日野駅-市役所-豊田駅間のバス路線開通 老人いっこの家「かしの木荘」開設 幼児教育センター開設 図書館が米国サウスフィールド市図書館と友好提携を結ぶ 多摩動物公園にコアラが来る	
昭和 60	1985 市民会館開館 住民登録事務電算化 つばさ学園開園	
昭和 61	1986 勤労・青年会館開館 エストニア共和国訪日団、日野市を表敬訪問 平和祈念事業開始	
昭和 62	1987 市民の森スポーツ公園開園 クリーンセンター新焼却施設完成 老人在宅ケア事業開始 日野市環境緑化協会発足 はくちよう学園開園	
昭和 63	1988 金剛寺不動明王像など東京都指定文化財となる 市立生活・保健センター開設	



▲市役所新庁舎完成(昭52)

時代区分		日野(多摩)中心のできごと
平成	平成元 (昭和 64)	1989 立日橋開通 南平丘陵公園開園 東部会館開館 ふるさと博物館開館
	平成 2	1990 特別養護老人ホーム「浅川苑」開園 多摩川の河床からゾウのキバ化石が発見される 百草図書館開館
	平成 3	1991 乗鞍高原「日野山荘」開設 万願寺歩道橋(ふれあい橋)開通
	平成 4	1992 浅川スポーツ広場完成
	平成 5	1993 八ヶ岳高原「大成荘」改装オープン 防災情報センター開設
	平成 6	1994 栄町高齢者在宅サービスセンター開設 日野市・多摩市・稲城市を管轄する日野税務署開設
	平成 7	1995 国土庁より日野市が「水の郷」に選ばれる 日野市環境基本条例制定 日野市第三次基本構想策定
	平成 8	1996 建築指導行政が市に移管
	平成 9	1997 新日野市商工会館落成 鳥と緑の国際センター開設
	平成 10	1998 日野税務署が新庁舎で業務開始 日野市個人情報保護条例施行 日野市立福祉支援センター開設 日野市農業基本条例制定 日野市庁舎案内「インフォメーションサービス」開始
	平成 11	1999 日野市ホームページ開設 市民課豊田駅連絡所開設 ひの市民大学開校
	平成 12	2000 多摩都市モノレール全線開通 リサイクル推進センター開設 ▲多摩都市モノレール全線開通(平12)
	平成 13	2001 ごみ収集用ボックス廃止、戸別収集制に変更 ISO14001の認証を取得 日野市第四次基本構想策定 東部子ども家庭支援センター開設 日野市ファミリーサポートセンター開設 日野市男女平等基本条例を制定
	平成 14	2002 夢が丘小(高幡台小・程久保小統合)開校 新日野市立病院開設
	平成 15	2003 一番橋新設開通 南平駅西交流センター開設 石田大橋開通
	平成 16	2004 「新選組フェスタin日野」を開催(1月11日~10月31日) 多摩平の森ふれあい館開設 多摩平交流センター他2館開設
	平成 17	2005 郷土資料館オープン開設 環境情報センター「かわせみ」開設 しごとサポートひの開設 ドッグラン開設
	平成 18	2006 平山小(平山小・平山台小統合)開設 日野市まちづくり条例施行
	平成 19	2007 国道20号日野バイパス全線開通 七生支所が京王高幡ショッピングセンター内に移転 自宅から1km以内で、住民票等の証明交付サービス開始(市内9郵便局) 0歳児ステーション「おむすび」開設 放課後こどもプラン「ひのつち」スタート 第3次日野市行財政改革大綱実施計画の策定
	平成 20	2008 日野町・七生村合併50周年 子ども家庭支援センター開設 平山季重ふれあい館開設 平山小新校舎完成 平山台健康・市民支援センター開設



▲多摩都市モノレール全線開通(平12)

日野市民憲章 昭和58年1月1日制定

わたくしたち日野市民は、多摩川・浅川につづく平野と丘陵の自然循環に恵まれたこのまちを、生活の中のふるさとと考え、みんなのしあわせのためにこの市民憲章を定めます。

- 1 元気に働きいきいきとして心ゆたかなまちをつくりましょう
- 1 手をつなぎともに健康で明るいまちをつくりましょう
- 1 自然を守り緑と清流と太陽の美しいまちをつくりましょう
- 1 人を大切にし弱い人にも子どもにも思いやりのあるまちをつくりましょう
- 1 文化をつちかいうるおいのある平和なまちをつくりましょう



Hino Civic Charter

Hino residents proclaim the Hino Civic Charter to ensure that the residents are happy living here. It is also drawn to think of Hino, a place blessed with the natural galore of plains and hillocks that stretch from Tama and Asa rivers, as the hometown of our daily living.

- Let's create a hearty and comfortable city that is energetic and a place to enjoy working.
- Let's create a healthy and happy city by working in harmony.
- Let's create a beautiful city of greenery, clean water and bright sun, by protecting nature.
- Let's create a friendly city that is considerate to people and kind to children and the weak.
- Let's create an affluent and peaceful city that cultivates the pride of local culture.

日野老人憲章 昭和57年1月1日制定

日野市民は、すすんで老人を理解し、老人の生きがいのある日常生活を保障するため、次のとおり老人憲章を定める。

- 1 老人は、長く社会につとめた先輩として、ひろく市民から敬愛される。
- 2 老人は、家庭と社会の大切な一員として、手厚く遇される。
- 3 老人は、家庭と社会から、健康と明るいくらしが守られる。
- 4 老人は経験や能力を社会に役立てるよう、その機会が設けられる。
- 5 老人は、健康と生きがいをつくるため、社会参加の道が開かれる。



Hino Senior Citizen's Charter

The following Hino Senior Citizen's Charter was drawn to understand the needs of senior citizens and to protect their right to quality of life in daily living.

- Seniors shall be widely respected and loved by all as a wise person who made our society better.
- Senior shall be carefully protected as an invaluable member of the family and society.
- Seniors shall be protected of their healthy and happy living through the support of the family and society.
- Seniors shall be provided the opportunity to share their experience and skills in society.
- Seniors are given opportunities of social participation to remain healthy and to enjoy quality of life.

日野市核兵器廃絶・平和都市宣言 昭和57年10月8日議決

巨大な量の核兵器は、米ソ両国の戦略兵器削減交渉などをもってしても、もはやその拡大を止められない事態となっている。

ひとたび核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類とその文化の滅亡であることはいまでもない。

日野市は、核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が市民生活の基本であるとの理念のもとに、ここに日野市が核兵器廃絶・平和都市であることを宣言する。

Hino City Proclaims Abolishment of Nuclear Arms and Promises to be a Peaceful City.

There are so many nuclear arms existing in our world that it would not be enough to stop the growth in number with only the Strategic Arms Reduction Talks (START) negotiated between the U.S.A. and Russia.

If nuclear arms are ever used, it will have devastating affects on all mankind and destroy modern civilization that we enjoy today.

Hino City will continue to shout for abolishment of nuclear arms until the last piece is eliminated from the earth. The city is convinced that peace is the basic right in daily living. Thus, the city hereby loudly proclaims abolishment of nuclear arms and promises to be a Peaceful City.

男女共同参画都市宣言

平成10年9月28日議決

わたくしたちのまち日野市は
一人ひとりが男女平等のもとに
互いの個性と能力を尊重し
豊かに暮らせる社会をめざして
ここに男女共同参画都市を宣言します

- 1 互いに地域で支え合う 安心して暮らせるまちをめざします
- 1 家事・育児・介護・仕事を分かち合う 共同参画のまちをめざします
- 1 互いに生き方を理解し合う 自立と共生のまちをめざします
- 1 互いの人権を認め合う やさしい平和なまちをめざします

Proclamation of a City that Promotes Participation of Both Men and Women

Our hometown, Hino City
Is a place where each and every individual
Backed by the ideals of equals rights for men and women
Mutually respect personal attributes and potential
In hope to create an affluent and comfortable society
Here, is our "Proclamation of a City that Promotes Participation of Both Men and Women"

- Seeking to create a safe and comfortable hometown in which the community mutually supports each other.
- Seeking to create a hometown that promotes joint participation to share housework, child rearing, nursing care and work.
- Seeking to create a hometown that is both independent and symbiotic, and a place where there is mutual respect for each others lifestyles.
- Seeking to create a hometown that is gentle and peaceful, and mutually respects human rights.



国際交流

日野市では、国際平和を視野においた国際交流親善を目的にアメリカ合衆国のレッドランズ市との間で、姉妹都市提携を昭和38年に締結しています。現在、両都市間では相互訪問による文化交流などが行われています。また、平成5年に設立された日野市国際交流協会は、外国人と市民との交流活動や在住外国人への支援活動を行っています。



International Exchange

Hino City takes world peace seriously. As the first step toward actualization of this goal the city endorsed sister ties with Redlands City, USA in 1963 with international exchange and friendship in mind. Today, there are many cultural exchange programs enforced between both cities. The Hino City International Exchange Association founded in 1993 is an organization that provides exchange activities between foreigners and residents, as well as support the needs of foreign residents.

日野市歌

昭和58年1月1日制定
日野市中学校教育研究会 音楽部会 作詞・作曲

1. みどりの街を わが日野と

ほこれる胸の 豊かさよ
恵みの幸を 踏みしめて
あしたに生きる 日野のわれら

2. 平和を思う ひとびとの

確かな声は 満ち満ちて
心にかよう ぬくもりを
手と手でつなぐ 日野のわれら

3. 脈打つ多摩の 水音に

思い出たどる なつかしき
流れが清く あるように
願いは同じ 日野のわれら

市章



日野市の市章は、日野の日の字を丸くして、炎のごとく燃えさかり発展していく様を象徴しています。

(昭和38年11月3日制定)

市の花 きく



日野に縁の深いカワラノギクの可憐さが人の心を引きつけるなどの理由から市の花に選ばれました。近年市内でも、“ポットマム”をはじめ、園芸品種が盛んに栽培されています。

(昭和48年11月3日制定)

市の木 かし



生態的に最も古い木で常に青々とした葉をつけています。古くから農家の高生垣や屋敷林として役立てられてきました。日野の自然植生の代表種であり、成長は遅いが環境を支える木として、着実に発展する日野にふさわしい木です。

(昭和48年11月3日制定)

市の鳥 カワセミ



くちばしが長く、体に比べ頭が大きく尾が短いことが特長。「鳥の宝石」といわれるほど美しい姿をしています。清流を好む鳥で、緑と清流のまちを目指す日野を象徴しています。

(昭和58年9月12日制定)